

【理念】

主に難治・慢性疾患の子どもを対象とした医療・保健・療育・福祉サービスの県の中核機関として、安心・信頼・満足の得られる医療・ケアの包括的なサービス提供を行います。

【基本方針】

●高度な専門知識と技術の向上に努め、良質で安全な科学的根拠に基づいた医療を、十分な説明と納得の上で提供します。

●地域の医療、保健、療育、福祉、教育機関との機能分担・連携を図ります。

●小児の医療、保健、療育、福祉にたずさわる専門家の育成、学生教育への協力および臨床研究を通じて、県下の小児保健医療の発展と向上に貢献します。

●県立病院の使命としての政策医療を推進します。

診療科等のご案内

◆ 診療科目

小児科（総合内科・神経内科・アレルギー科）
こころの診療科（精神科）、整形外科、小児外科、眼科
耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科

◆ その他の外来

予防接種、肥満、発達障害、ダウン症
臨床遺伝カウンセリング

- 内科系：頭痛、心臓内科、腎臓内科、内分泌・代謝科、血液・リウマチ科
- 外科系：泌尿器科、脳神経外科、形成外科

◆ 病床数 100床

ご利用案内

◆ 外来診療

- 小児科（総合内科）を除き、原則として予約制です。
- 診療時間 午前 9時00分～午後 5時00分
- 予約受付時間 午前 8時30分～午後 5時00分
- 休診日 土・日・祝日・年末年始

◆ 初診時の注意点

- 0～18才未満の方を対象としています。

初診時に持参いただくもの

- 保険証（国保・協会健保・共済等）：受診時毎月提示してください。
- 母子健康手帳（乳幼児の場合・こころの診療科受診の場合）
- 医療券（公費負担をご利用の場合）

★予約直通電話：077-582-8425★

小児科（総合内科）は予約なしで受診していただけます。
診療受付は午前11時30分（月～金）までです。

地域医療連携室ご利用案内

- 受付時間 月曜日～金曜日
午前9時00分～午後4時30分
（土、日、祝日、年末年始は除く）
- 直通電話 077-582-6222
- FAX番号 077-582-6276



滋賀県立小児保健医療センター（編集発行）

〒524-0022 滋賀県守山市守山五丁目7番30号
Tel: 077-582-6200
Fax: 077-582-6304
HP: <http://www.pref.shiga.lg.jp/mccs/index.html>



脳性麻痺による側弯症の治療

脳性麻痺の患者さんでは側弯症（脊椎の変形）がおこることがあります。側弯症が進行すると、バランスよく座れなくなったり、呼吸や胃腸の働きに問題が出てくる場合があります。

当院では、ひとりで歩く患者さんから寝たきりの患者さんまで、脳性麻痺の側弯症の手術治療を行っています。



手術では胸椎から骨盤まで、脊椎の関節を一部切除して脊椎を柔らかくし、スクリューやケーブルなどのインプラントを用いて、バランスがよく、できるだけまっすぐな位置で固定します。骨が弱い場合は、術後に半年ほどコルセットをしていただくこともあります。

脳性麻痺の患者さんでは、他の関節に問題があったり、てんかんなどの内科的合併症がある場合が多いため、当院では、脊椎外科専門医・小児整形外科医・小児神経内科医が連携しながら、包括的に、手術適応の判断・術前評価・治療を行っています。

側弯症は気がつかない内に進行していることがあります。強度の側弯症では手術をしても矯正が難しかったり手術侵襲が大きくなってしまふことがあります。脳性麻痺の患者さんには、半年から1年に1回の定期受診をお勧めしています。

側弯症の治療により、生涯にわたって安定した坐位を維持することは、肺炎や消化管障害などの合併症を予防し、社会参加と生活の質の維持に必要な事であると考えています。

小児科に新任医師が着任しました



【氏名】
加藤 竹雄
(かとう たけお)

【診療科】
小児科

【ご挨拶】
この度、当院小児神経内科の部長に就任いたしました加藤です。

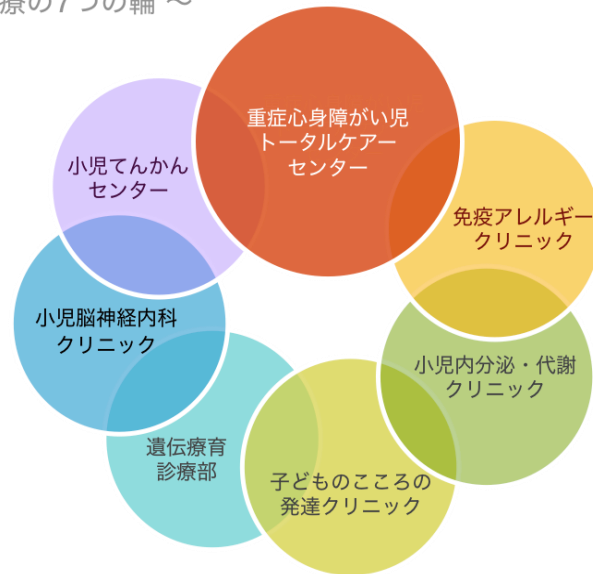
私はこれまで、10数年の間、京都大学医学部小児科に勤務し、小児神経グループの主任としての仕事に取り組んで参りました。そこで得た知識や経験を生かし、滋賀県のみなさまのお役に立てるよう奮闘努力して参ります。

滋賀県立小児保健医療センター 小児神経内科のこれから

私たち、小児神経内科のスタッフは「発達過程にある脳を守る」という目標を掲げ、以下に掲げる診療理念のもと One Team として取り組んで参りたいと思っております。

滋賀県立小児医療保健センター 小児科の診療理念

～ 診療の7つの輪 ～



Shiga Medical Center for Children

当院小児神経内科がこれまで力を注いできた重症心身障がい児の診療や療育を軸とし、発達障害などの診療や小児てんかん診療、遺伝療育、神経筋疾患など様々な小児神経専門分野の診療の質の向上と充実化を図って参ります。現在、症状などでお困りになっている患者さまや診断・治療に苦慮されている先生方、お気軽にご相談ください。

また、小児神経学の面白さを理解し、小児神経を志す若い先生を1人でも増やしていけるよう「教育」という点においても力を注いで参ります。脳波判読や神経心理検査の解析、神経筋の電気生理学検査の仕方など実際の臨床に直結するレクチャーをはじめ、小児神経レクチャーや症例検討会など様々な取り組みを行っております。小児神経に興味をもたれる先生で関心がありましたら、是非ともご連絡ください。一緒に楽しく勉強していきましょう。

ロタウイルス感染症の定期接種化について

令和2年10月1日からロタウイルス感染症が定期予防接種の対象疾患になります。定期接種で使用するロタウイルスワクチンには、接種回数や時期の異なる2種類の製剤を位置づけているので、接種の際には注意が必要です。

経口弱毒生ヒトロタウイルスワクチン

対象者：生まれた日の翌日から起算して6週に至った日から24週に至る日まで。

接種方法：27日以上の間隔をおいて2回経口投与するものとし、接種量は毎回1.5mlとする。

5価経口弱毒生ロタウイルスワクチン

対象者：生まれた日の翌日から起算して6週に至った日から32週に至る日まで。

接種方法：27日以上の間隔をおいて3回経口投与するものとし、接種量は毎回2mlとする。

*定期接種開始時の対象者については、令和2年8月1日以後に生まれた者に限ること。

*原則同一の製剤で接種を完了すること。(例外あり)

予防接種センター

予防接種機能を有する医療機関の窓口として、当院の保健指導部に予防接種センターを設置しています。国の予防接種センター機能推進事業の業務に基づき以下の業務を行っています。

①予防接種要注意者に対する定期予防接種の実施

②予防接種に関する知識や情報の提供

令和2年6月～7月ごろにロタウイルスワクチンに関する研修会を開催する予定です。小児科医療機関へは個別に案内を予定していますので、ぜひご参加ください。

③予防接種に関する医療相談

予防接種センターへのご相談は…

対応時間：火・木 9:00～16:30

水 9:00～12:00

直通電話：077-582-6296

療育部からのお知らせ

ワイワイ教室(ダウン症児集団療育)は、2020年4月から障害福祉サービスとして実施します。3才未満までの子どもさんが対象となります。

うさぎグループ…第1水曜日

ひよこグループ…第3水曜日

詳しくは、療育部までお問い合わせください。

TEL 077-583-2125(直)